

TAKE FREE
2022.02



photo: Ken Ohki

とやまごころ

—日本橋とやま館たより—

あなたの知らない富山が誇る
ヒト・モノ・コトの魅力が見つかるフリーマガジン



NIHONBASHI
TOYAMA

願いが
込められた
土人形

#01 歴史と由来

江戸末期以降、信仰にまつわるものや縁起物、魔除け、子どもの玩具として親しまれてきた「とやま土人形」。始まりは1848～54年(嘉永年間)、富山藩十代藩主の前田利保公が尾張の陶工、加藤家の職人である広瀬秀信を招き、現在の富山県桜木町のあった千歳御殿に窯を開いて陶器を作らせ、秀信の子、安次郎が陶器作りのかたわら天神臥牛を焼いて献上したことが、「とやま土人形」のはじまりとなりました。



#02

願いが込められた
土人形

とやま土人形伝承会とは

昭和初期まで数軒あった土人形屋。伝統の技法と事業の後継者がいなかったことから、1997年(平成9)、「とやま土人形伝承会」を結成。受講生が伝統の技や型を学び、後世に伝えるべく活動を続けています。



スタッフのおすすめ

絵付け体験ができるとやま土人形工房



素焼きの土人形に絵付け体験ができる「とやま土人形工房」。可愛いサイズの抱きびなや招き猫、干支の土鈴などから選び、自分らしい表情を描けます。

とやま土人形工房
〒930-0881
富山県富山市
安養坊1118-1
TEL:076-431-4464



#03

願いが込められた
土人形

しあわせを 願って飾る、 伝統と最新の人形

子どものしあわせを願い、特別な日に飾ってきた土人形。ひなまつりはもちろん、天神信仰の厚い富山県では学問の神様である天神様の人形をお正月に飾る風習が受け継がれています。古くからの型を使いながら、一つの人形を型決めから絵付けまで、一人で仕上げるのが「とやま土人形」の特徴で、作り手によって異なる表情が楽しめます。中には現代的なデザインや可愛らしさが伺えるものも。



昔から変わらぬ
庶民の願いが込められた
素朴な土人形

素朴な風合いで古来から日本人に愛されてきた土人形。毎年桃の節句の前に、ひな人形作りが佳境を迎えます。おひなさまとお内裏さまが寄り添う「抱きびな」をはじめ、天神さまや、干支の土鈴など手作りの愛らしい表情が特徴です。

日本橋とやま館

営業時間

ショップフロア 10:30～19:30
和食レストラン 11:30～14:30
17:00～22:30(日・祝～21:00)
バーラウンジ 11:00～21:00
※ラストオーダーは閉店の30分前
年中無休(年末年始、ビル施設点検日等を除く)
※2月21日(月)は、臨時休館いたします。
営業時間やイベント内容については変更となる場合があります。最新の情報は、日本橋とやま館の公式サイト等でご確認ください。

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-2-6
日本橋大栄ビル1階

ショップフロア(物販) 03-3516-3020
和食レストラン「富山はま作」03-3516-3011
その他(イベント等) 03-6262-2723

電車でのアクセス

東京メトロ
銀座線・半蔵門線「三越前」駅: B5出口より徒歩すぐ
銀座線・東西線「日本橋」駅: B9出口より徒歩3分

都営地下鉄
浅草線「日本橋」駅: B9出口より徒歩3分

JR
総武本線「新日本橋」駅より徒歩8分
「京橋」駅より徒歩8分

バスでのアクセス

メトロリンク日本橋(無料巡回バス)
「地下鉄三越前」駅下車 徒歩1分
※東京駅八重洲口「第二鉄鋼ビル」よりご利用いただけます。

公式サイト



公式サイト更新中!
さまざまな情報を発信しています。

日本橋とやま館

公式SNS更新中!

